



東北大学

平成 28 年 10 月 27 日

報道機関各位

東北大学大学院薬学研究科

<記者説明会のお知らせ>
メマンチンは脳インスリンシグナルを改善する
- アルツハイマー病の糖尿病仮説の実証 -

【研究概要】

東北大学大学院薬学研究科の森口茂樹講師、福永浩司教授らの研究グループはアルツハイマー病治療薬として 2011 年に認可されたメマンチン（メマリー）が脳インスリンシグナルを改善することを発見しました。

メマンチンは脳に局在するグルタミン酸受容体の一つである NMDA 受容体を阻害し、グルタミン酸による興奮性神経伝達の過剰興奮を抑え、シナプス伝達ノイズを除去すると考えられています。研究グループは新たにメマンチンが脳内インスリンシグナルに関わる ATP 感受性カリウムチャネル（Kir6.1/Kir6.2 チャネル）を阻害することを発見しました。本研究成果はアルツハイマー病の「脳糖尿病仮説」を実証した初めての成果であり、脳の Kir6.2 チャネルが新しいアルツハイマー病治療薬の創薬ターゲットであることを示しました。

本成果は 2016 年 10 月 25 日（日本時間 26 日）に *Molecular Psychiatry* 誌（電子版（Advance online publication））に掲載されました。本研究は、文部科学省科学研究費助成事業及び日本医療研究開発機構 AMED の支援を受けて行われました。

つきましては、下記のとおり記者発表を行いますので、ご多用の折とは存じますが、ご参集いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。取材・撮影をご希望の場合は、末尾の「出席確認票」にご記入の上、11 月 3 日（木）までに FAX にてお申し込みください。

記

日時：平成 28 年 11 月 4 日（金）午前 10 時から（記者受付 9 時 30 分～）

会場：東北大学片平北門会館 2F エスパス（次頁会場案内図参照）

〒980-8575 仙台市青葉区片平二丁目 1-1

発表者：福永浩司（東北大学大学院薬学研究科・教授）

森口茂樹（東北大学大学院薬学研究科・講師）

以上

【問い合わせ先】

東北大学大学院薬学研究科

講師 森口茂樹

電話：022-795-6837

E-mail：shigeki@m.tohoku.ac.jp

会場案内図



東北大学 大学院薬学研究科 総務係 行

F A X 番号 : 022-795-6805

出席確認票

御出席に際しては御連絡先などを御記入の上、FAXにて、
11月3日(木)までに御返信ください。

日 時 : 平成28年11月4日(金)
午前10:00~ (記者説明会)
会 場 : 東北大学片平北門会館エスパス

御社名 : _____

御所属 : _____

御芳名 : _____

媒体名 : _____

御連絡先 : _____

電話 : _____ FAX : _____

Email : _____